



市立池田病院だより

基本理念

創意に富み 思いやりのある 信頼される病院をめざして

第30号

2019年1月発行

新年のご挨拶



総長 今井 康陽

新年あけまして
おめでとうございます



新年あけましておめでとうございます。我が国において少子高齢化が進み、超高齢化社会を迎えようとしています。市立池田病院を取り巻く環境も例外ではなく、自宅や施設などに入所されている高齢者が救急車で搬送される機会が増えており、市立池田病院ではこうした患者さまの救急診療に対応すべく、365日休みなく救急の受け入れを行っています。このような救急診療を円滑に行うため、かかりつけ医の先生方、救急隊、ケアマネージャー、施設の方々とも連携をとり、会議も行っていきます。また、予定された手術などでの入院を円滑に行うため、1階フロアの入退院サポートセンターを改装し充実させました。ここでは患者さまの状態や投薬内容などの聞き取りを行い、入院前から入院中、退院後の生活まで、リハビリテーションなどを含めた一貫したケアを行い、地域社会への復帰促進をめざしています。

市立池田病院は、地域の急性期基幹病院としての役割を果たすべく、専門性の高い先進的な医療にも積極的に取り組んでいます。がん診療においては、大阪府がん診療拠点病院として、肺癌、大腸癌、胃癌、乳癌、膵臓癌、肝癌、前立腺癌、腎癌、食道癌、婦人科癌などについて腹腔鏡下手術を中心とした手術、内視鏡治療、化学療法、放射線治療、緩和ケアと幅広く高度ながん専門診療を行っています。

皆さまが安心して暮らせる地域医療を確立すべく、創意に富み、思いやりのある、信頼される病院を基本理念として、職員一丸となって努力していきたいと思っております。



病院長 柴田 邦隆

新年あけましておめでとうございます。昨年は地震や豪雨、台風などの自然災害や記録的な猛暑もあり大変な一年でした。私自身は4月に病院長に就任し、あっという間の8か月でした。

市立池田病院では、急性期病院としての役割を果たすため、救急疾患対応やがん診療にも力を入れています。特に手術部門については、優秀なスタッフや最新の医療機器をそろえ、急性虫垂炎や骨折などの緊急手術から肺癌や肝臓癌に対する高難度の腹腔鏡手術まで多種多様な疾患に対応できるようになり、ここ数年、新入院患者数や手術件数などが着実に増えています。

本年は、5月から新しい元号となり、2020年の東京オリンピック開催、2025年の大阪万博開催を控え、明るい未来に向かってよりよい年になってほしいと思っています。

市立池田病院は、今年も昨年と同様に、地域支援病院として、また、がん診療拠点病院として、「救急医療と円滑な院内連携」、「質の高い急性期医療」、「かかりつけ医との連携強化と逆紹介の推進」を目標とし、病院の理念である、創意に富み、思いやりのある、信頼される病院をめざし、職員一同、力を合わせて、皆さまに安全で安心な医療の提供ができるよう頑張っていきたいと考えています。今年もよろしくお願ひします。

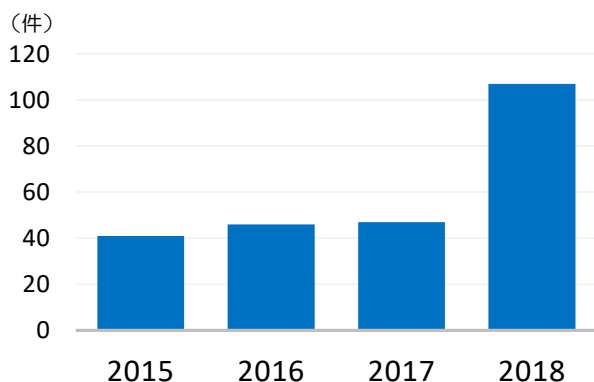
患者さまの権利

- ・ 個人として常にその人格を尊重される権利があります。
- ・ 自分が受ける医療に参加して自ら決定する権利があります。
- ・ 良質な医療を平等に受ける権利があります。
- ・ 自分が受けている医療について知る権利があります。
- ・ 十分な説明を受ける権利があります。
- ・ 診療上の個人情報やプライバシーが守られる権利があります。

近年、当院でも膵癌症例は増加傾向ですが、見つかった際には進行しており手術適応がない状態が多くあります。今後いかに膵癌を早期に発見できるかが課題となっています。

超音波内視鏡検査(Endoscopic Ultrasonography: EUS)は、先端に超音波装置がついた内視鏡を用いて胃の中から膵臓を観察できるため、消化管ガスの影響を受けず、詳細に膵臓の評価が可能です。EUSは、MRIやCTよりも膵腫瘍の検出能が良いとされています。当院では以前よりEUSを行ってきましたが、2018年4月以降は検査枠を増やして膵疾患が疑われる症例に対して積極的にEUSを行っています。膵腫瘍のある症例に対してはEUSガイド下穿刺吸引針生検(EUS-guided fine needle aspiration: EUS-FNA)を行い、病理学的評価も行っています。

各年度の4月から11月までのEUS検査数



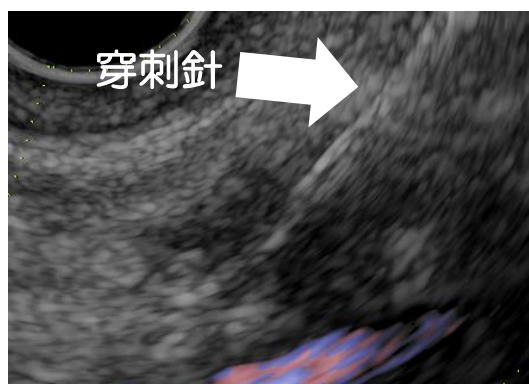
EUSで用いる内視鏡や穿刺針



EUSで認めた8mm膵癌



EUS-FNAで腫瘍から検体を採取しているところ



糖尿病新規発症2年以内、糖尿病増悪、膵嚢胞や主膵管拡張を指摘されたことのある患者さまなどは膵癌のハイリスクであるため、膵画像精査の適応であると考えられます。EUSを含めた複数の画像検査を用いて膵精査をさせていただきます。



当院は地域医療の拠点病院として近隣の病院や診療所との連携を進めております。初診の患者さまは、一度かかりつけ医にご相談ください。






5階南病棟のご紹介

5階南病棟は、消化器内科、眼科、皮膚科の混合病棟です。

消化器内科では、内視鏡の検査や治療、手術、肝臓の治療、化学療法を受けられる患者さまが多く入院してこられます。最近は膵臓がん診断の一つとして内視鏡検査を受けられる患者さまが増えています。

内視鏡検査を受けられる患者さまに対しては、安心して受けていただけるよう丁寧でわかりやすい説明を心がけています。

超音波内視鏡を使った膵管の穿刺検査の入院から退院までの流れについてご紹介します

＜入院診療計画書＞超音波内視鏡を使った膵管の穿刺検査を受けられる患者様へ						
	前日	当日・検査前	当日・検査後	検査後1日目	検査後2日目	検査後3日目
検査 処置 薬剤 点滴 内服	 <p>血液をサラサラにする薬を飲んでおられる方は、医師の指示により内服中止となる事がありますので、お申し出ください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 検査前の内服薬は医師の指示どおり服用して下さい。 出棟30分までに点滴を始めます。 看護師が検査着をお持ちしますのでお着替え下さい。下着やズボンにははいてかまいません。 () 時頃、検査室に行きます。その前にトイレを済ませておいて下さい。 検査室で消泡剤の服用と咽喉麻酔を行います。 検査開始直前に胃の動きと痛みを抑える注射を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 検査後、ストレッチャーで病室に帰室します。 検査中、眠くなる薬を使います。検査直後に一人で起き上がるのは危険ですので、安静にしてください。 検査2時間後に採血を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 採血を行います。 点滴が終了します。 今まで服用していた内服薬の服用は、医師の指示に従って下さい。 		<ul style="list-style-type: none"> 結果説明は次回外来受診日に行ないます 
食事	21時以降は絶食です。ただし、水やお茶は飲んでかまいません。	朝から絶食です。但し、水やお茶は少量であれば飲んで構いません。	検査後2時間より、水やお茶のみ飲んでもかまいません。	朝から食事が再開します。		今週中は刺激物を避けたお腹にやさしい食事を摂ってください
活動	特に制限はありません。		検査後トイレ歩行のみ可能 洗面・トイレ歩行は可能ですが、検査中に眠くなる薬を使っています。足元に気を付けて歩いてください。	病院内を自由に歩行できます。	特に制限はありません。	
清潔	シャワー、または入浴を済ませて下さい。			身体を拭きます。	シャワーまたは入浴ができます。	
説明 指導	看護師が検査の経過について説明します。	入れ歯、眼鏡、コンタクト、時計、ヘアピン、指輪など身体から外せる物は外しておいて下さい。	気分の悪い時や痛みがある時、また、黒い便が出た時は看護師にお知らせ下さい。 看護師が検査後の食事や活動について説明します。 心配なことや気になることがあれば、遠慮なく看護師に声をかけて下さい。			
注1) 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等をすすめていくにしたがって変わり得るものである。						
患者・家族からの 要望または質問	以上のことに関して、内容を理解しました。			総合的機能評価(口あり <input type="checkbox"/> なし)	同席者署名	(続柄)
説明者	年 月 日			同席者署名	(続柄)	
	患者署名			同席者署名	(続柄)	
※未成年者や・人が署名不可時の場合は代理人が署名のこと						
市 立 池 田 病 院						

- ・入院期間は5日程度です。
- ・検査を受けられる方には、患者さま用の計画書を用いて説明します。
- ・検査中は眠くなる薬を使用して痛みを感じにくくしています。
- ・検査後は、しっかり目が覚めたら、トイレまで歩くことができます。また、2時間後から水やお茶を飲むことができ、翌日の朝から食事が食べられます。
- ・検査の2日後からは特に制限することはなくなります。
- ・検査の3日後には退院となります。結果については次回の外来受診時に説明します。

気になることがあれば、いつでも看護師にお声がけください。



このたび個室のリニューアルを行い、患者さまに、より快適な入院生活を送っていただくことができるようになりました。ぜひ、ご利用ください。

3.0T(テスラ)MRI装置導入のお知らせ！！

2019年2月より3.0T MRI装置が本格稼働します。

3.0T MRI装置の特徴

1.5T MRI装置と比べて、より高解像度な画像を提供できます。

また、より短い撮影時間で1.5T MRI装置と同じ画像を得ることも可能で、患者さまの負担軽減にもつながります。

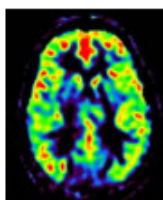
今までの準2台体制(新旧1.5T MRI装置2台)から本格2台体制(3.0T MRI装置1台、1.5T MRI装置1台)にすることで、予約検査枠が大幅に増加し、検査待ちの解消や地域の医療機関からの依頼に対して迅速な対応が可能となります。

T(テスラ)：磁気の強さを表す単位。

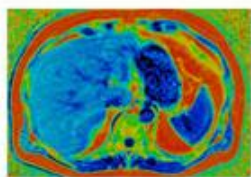


新装置について

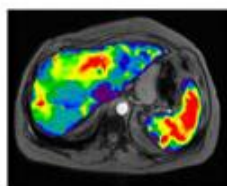
- ・開口部が広く、奥行きが短いため、圧迫感が軽減されます。
- ・患者さまの体動や呼吸、金属インプラントなどによるアーチファクト（異常所見でない部位でも異常に見えてしまうこと）を軽減する機能が搭載されています。
- ・従来の撮影に加えて様々な特殊撮影など、幅広い要望にも対応できるようになっています。



脳血流マップ
(3D ASL)



肝臓脂肪・鉄沈着マップ
(IDEAL IQ)



肝臓エラスト(硬さ)
(MR Touch)



全身DWI

患者さまに負担が少なく、安心して検査を受けていただき、より良い画像を提供できるよう努めてまいります。

お問い合わせ

ご意見箱を院内に設置しておりますので、病院だより等のご意見ご感想などお寄せくださることをお待ちしております。

〒563-8510 大阪府池田市城南3丁目1番18号
Tel 072-751-2881(代表) Fax 072-754-6374
URL <http://www.hosp.ikeda.osaka.jp>
編集・発行：市立池田病院 広報委員会